



本冊子は、建設業の若手技術者の成長を応援することを目的に、建設技術者が身に付けておくべき基礎的な知識や仕事内容のほか、成長段階ごとに必要とされる能力や資格などについて解説した入門書です。

この度、法令改正への対応や最新データへの更新など所要の改訂を行いましたので、若手技術者の教育などに是非ご利用ください。

1. 本冊子の構成

第1章 建設業の特徴と魅力

建設業の役割(社会基盤の下支え、地域の守り手など)、建設業の特徴(個別受注生産、現地屋外生産など)、建設工事の関係者(発注者、協力会社など)について触れながら、段取りの重要性や建設技術者のやりがいについて説明しています。

第2章 建設技術者の仕事

施工管理(品質、原価、工程、安全、環境)、技術者制度(主任技術者、監理技術者など)について説明した後、道路改良工事、オフィスビル建築工事を例に、工事の流れや各工程のチェックポイントを紹介しています。

第3章 建設技術者のスキルアップ

建設技術者が身に付けるべきスキルを「新入社員期(1年目)」「基礎形成期(2～3年目)」「成長期(4～6年目)」「自立期(7～10年目)」「発展期(11～20年目)」の段階ごとに示すとともに、施工管理技術検定について紹介しています。

第4章 これからの建設業

建設現場の労働力不足・高齢化の現状について説明した後、i-Construction、インフラ分野のDXなど生産性向上の取組、週休2日制、労働時間の短縮など働き方改革の取組について紹介しています。

2. 主な改訂ポイント

(1) 技術者の専任制ほか

建設業法等の改正を踏まえて、技術者の専任制と兼務の特例の説明を修正しました。(P26「技術者の専任制」)

そのほか、法令改正に伴う修正を行いました。

(2) i-Construction 2.0、インフラ分野のDX

建設業の今後をイメージしてもらえるよう、生産性向上に向けた取組として、i-Construction 2.0やインフラ分野のDX アクションプラン(第2版)に関する解説を追加しました。(P66～71「生産性向上に向けた取組」)

(3) 建設業の働き方改革

働き方改革のテーマについては、休日の拡大状況や時間外労働の上限規制など、最新の情報に更新しました。(P72～75「建設業の働き方改革」)

